

CSR 推進

当社は社会や環境に対して責任を持った事業活動を推進するため、CSR 推進課を中心とした全社横断的な推進体制を構築し、持続可能な社会の実現に貢献しています。

CSR*(企業の社会的責任)ビジョン

私たち高田製薬は、飲みやすく 使いやすい くすりを提供することで、患者さんや医療関係者に貢献するとともに、企業倫理と透明性の維持を図り、地域社会の発展に寄与し、地球環境を守ることで、すべての人々に信頼される企業を目指します。

※CSR:Corporate Social Responsibility

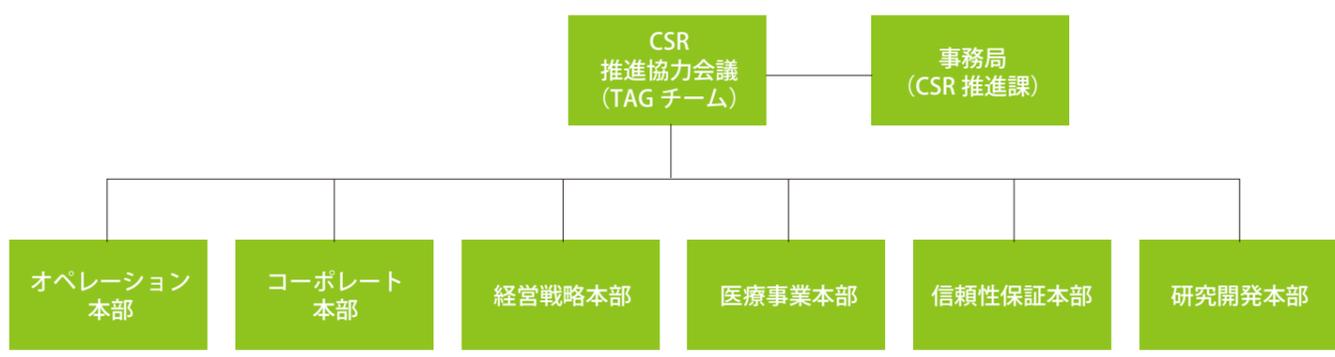
当社は経営理念の実現を通じて、企業価値の向上とサステナブルな社会への貢献を目指しています。

2019年10月にCSR推進課を設置し、社会や環境に対して責任を持った事業活動を推進しています。2020年10月には、全社一体となったCSR活動を展開するため、各本部からの協力メンバーと連携したCSR推進体制を構築しました。

この協力メンバーを『TAG(タッグ)』と名付け、「引き継ぐ」「協力して事にあたる」という意味を込めて、CSRビジョンの実現に向けた活動を展開しています。

CSR 推進体制

CSR 推進課を事務局とし、各本部から選出された TAG メンバーが連携して CSR 活動を推進しています。



CSR 活動の取り組み

TAG ミーティングによる活動推進

2020年10月にキックオフしてから4年が経過しました。各拠点をWeb会議ツールで繋いだTAGミーティングは、月1回の頻度で継続開催しています。これまでCSRビジョンの策定、取り組みテーマの協議、そして具体的な実行まで、段階的に活動を発展させてきました。



大宮工場



本社



北埼玉工場



幸手工場

CSR・SDGs に関する啓蒙

CSR info.の発行・CSRセミナーの開催

全従業員がCSRやSDGsへの理解を深められるよう、「CSR info.」という情報紙をイントラネットや各事業所掲示板に定期的に掲載しています。現在までに21回発行し、当社の取り組み内容だけでなく、社会の動向にあわせ、CSRやSDGsに関する情報を発信しています。

また、企業の社会的責任や環境保護への関心は、近年ますます高まっており、政府や国際機関のサステナビリティに関する規制に柔軟に対応する必要性も増えています。これらの背景を踏まえ、さらなる理解を深めることが重要と考え、2024年3月から「CSRセミナー」を開催しています。当社CSRアドバイザーが講師となり、CSRやサステナビリティに関する基礎的な情報から人権尊重などをテーマとして、現在までに5回開催しています。さらに、全てのセミナーを録画し、e-ラーニングシステムにて従業員がいつでも受講できるような環境を整えています。



CSRinfo



CSR セミナーの様子

4つの取り組みテーマ

TAG チームでは、おくすり教室、寄付活動、障害者支援、地域貢献・交流の4つのテーマで継続的な社会貢献活動を展開しています。

	おくすり教室	寄付活動	障害者支援	地域貢献・交流
概要	<ul style="list-style-type: none"> 工場見学風動画、薬を飲む時間に関するお話の動画を公開 小学校に訪問しておくすり教室を開催し、薬についての正しい知識を身に付けてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 寄付型自動販売機を設置し、その売り上げの一部を、子どもに関する支援団体へ寄付する 	<ul style="list-style-type: none"> 障害者アートの利活用 支援団体が必要としている物資を集め寄贈する 	<ul style="list-style-type: none"> フードドライブの開催 各事業所周辺の催しへの協力
2024年度実績	工場見学風動画や服薬時間に関する解説動画を制作・公開し、地域でのおくすり教室開催を通じて、医薬品に関する正しい知識の普及に取り組んでいます。2024年度は大宮工場に近い小学校の校外学習に協力し、工場見学とおくすり教室を行いました。	社内に寄付型自動販売機を設置し、その売上の一部を子ども支援団体に寄付することで、継続的な社会貢献活動を実施しています。2024年度は3回目の寄付を行いました。	障害者アートの利活用や、支援団体が必要とする物資の寄贈を通じて、障害者の社会参加と自立支援に貢献しています。2024年度は障害者アートの利活用(2回目)とシール・折り紙・メモ用紙の寄贈(3回目)を行いました。	フードドライブの開催や各事業所周辺で実施される地域イベントへの参加により、地域社会との連携を深めています。2024年度はフードドライブ活動(2回目)、災害時用救急セット・毛布の寄贈、清掃活動のSNS発信(ピリカ)を実施しました。

※詳細については P44-45 「持続可能な地域社会への貢献」 ページをご参照ください。